



空調タイムス 2020年3月25日

「C値測定の気密測定器を小型化 - C Rや自動車分野などへ裾野拡大 -」

富山県で住宅建材総合商社を営むヤマイチ(社長「廣瀬貴志氏、本社・富山県富山市野口812」)は家の断熱気密特性・室内空気質の実測調査および関連機器の開発・販売を行うEOM(社長「駒野清治氏、本社・静岡県浜松市東区笠井新田町1196番地」)と共同で開発した小型気密測定器「Dolphin2」の販売強化を図っている。

これまで気密測定については住宅全体の隙間となる気密性能C値(相当隙間面積)を測ることで断熱性能などの評価を行ってきた。仮に断熱性能が高くても気密性能が維持できていないと隙間風によって居室面の温度が下がり体感として寒さを感じる。近年の全館空調においては気密が取れていることが性能を発揮する必須条件ともなっている。

同時に建築途中の段階で計測を実施することで手直しが行え、完成時に気密性の高い住宅へと修正することもできる。

一方、気密測定におけるメリットとしては換気不足になると結露やカビ、ダニ。または家具などから発生する化学物質濃度が高くなりシックハウスの原因となることも

C値測定の気密測定器を小型化

ヤマイチ

C Rや自動車分野などへ裾野拡大

あり、こうした事前予防や、室内に温度ムラが少なく状態を再現でき快適な室内環境を得ることができるよう、月次、年次の光熱費削減でランニングコストを抑えることが出来る。

昨年より全国販売を開始した「Dolphin2」は旧型気密測定器「ドクタードルフィン」の後継機種としてシステム構成品の90%以上を見直し最適化し、送風機・測定器の両システムにおいて従来比30%の軽量化を実現した。

シリーズとして目的対応別に4機種をリリースしている。ペーシックタイプはDolphin-Airは仮想延床面積が

100平方メートルの場合の測定C値(Cm/㎡)は0.1~1.5。重量は8kgと持ち運びが可能とした。新築住宅や超高気密住宅、または社内検査などへ適しているタイプだ。販売価格は税別7万8千円から(最上位機種Dolphin-Pro fullは税別10.5万8千円)。

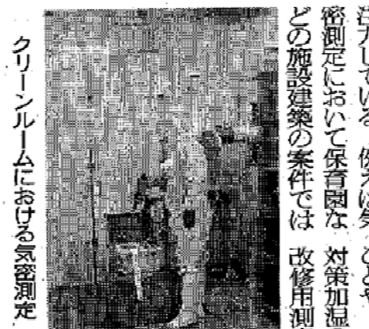
製品特長としては軽量化・コンパクト化に加え、操作部は床置きを原則とし軽量のビニールダクトで開口部へ接続するだけといった転倒防止のリス



Dolphin2 本体外観



自動車の気密測定



クリーンルームにおける気密測定

クを軽減。差圧を見ながらの風量調整、平均処理、分析までを簡単なタッチパネル操作の半自動測定ができる。半自動による気密測定技能者養成事業の講習会でデキストとして用いられるJIS A 2001「送風機 最大測定床面積1千平方メートル以上の気密性能試験方法」にも準拠している。

他方で従来、住宅に向いていなかった気密試験が、同社では裾野拡大に注力している。例えば気密測定において保育園など施設建築の案件では改修用測定。さらに電算機室の結露対策として侵入外気調査測定のほか、自動車分野では気密性能評価などに活かされている。

最大測定床面積1千平方メートル以上の気密性能試験方法」にも準拠している。また、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が開催する気密測定技能者養成事業の講習会でデキストとして用いられるJIS A 2001「送風機 最大測定床面積1千平方メートル以上の気密性能試験方法」にも準拠している。

他方で従来、住宅に向いていなかった気密試験が、同社では裾野拡大に注力している。例えば気密測定において保育園など施設建築の案件では改修用測定。さらに電算機室の結露対策として侵入外気調査測定のほか、自動車分野では気密性能評価などに活かされている。

●共同開発 ヤマイチ株式会社+EOM株式会社

●販売元 ヤマイチ株式会社
(総合窓口) Dolphin担当: 平林
[TEL] 076-436-0231(代)
〒930-0173富山県富山市野口812



<http://h1s.jp/drddolphin/>

●製造元 EOM株式会社
(技術) Dolphin担当: 駒野
(特注対応) [TEL] 090-2939-7725
[E-mail] dolphin.eom@outlook.jp
〒431-3105
静岡県浜松市東区笠井新田町1196



<http://www.sunqeom.jp/>